



第十六回

トーンを「描こう」!



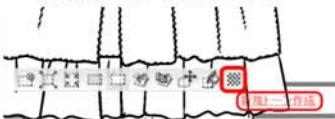
■[選択範囲ランチャー]を使ってトーンを貼る方法

[選択範囲ランチャー]からトーン素材を貼り込む方法があります。

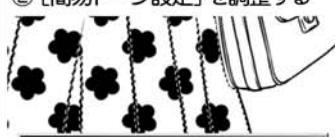
この方法だと「通常」トーンしか貼ることが出来ません。
また素材パレット上の「履歴」に貼り込んだ履歴が残りません。

しかし、線数・濃度・種類が同じトーンを一枚にまとめることが出来るので、上手く使い分けをすると効率的です。

- ① [選択範囲ランチャー]で「新規トーン作成」を選ぶ



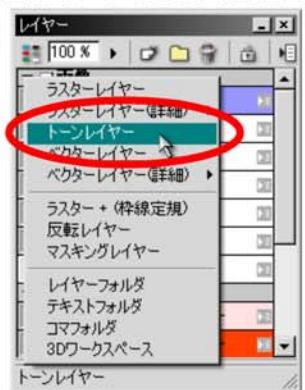
- ② 「簡易トーン設定」を調整する

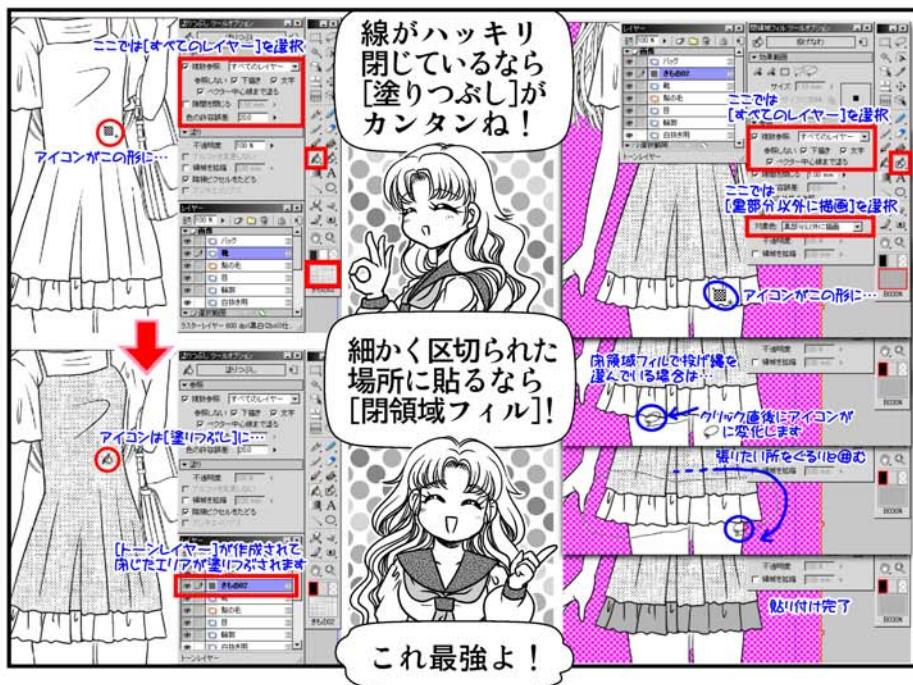
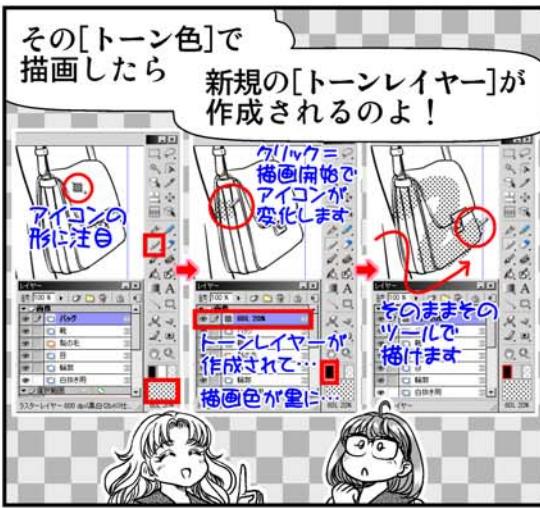
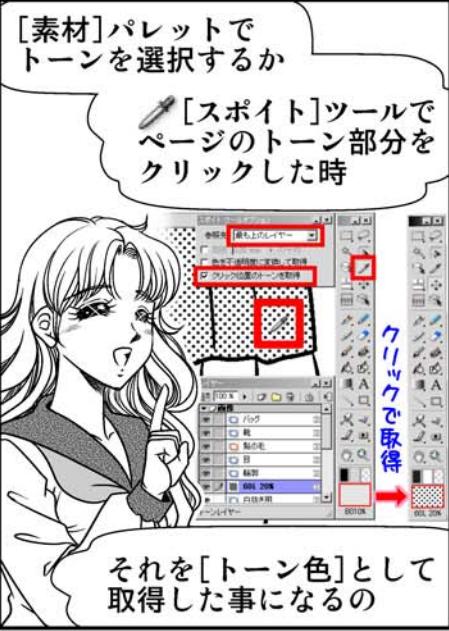


- ③ 貼り込み完了!



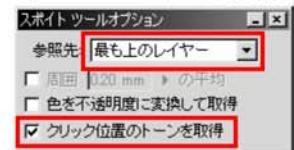
選択範囲なしでレイヤーパレットのカテゴリ欄「画像」をクリック→「トーンレイヤー」作成を選ぶと、「簡易トーン設定」が表示されて全体にトーンを貼ることが出来ます。



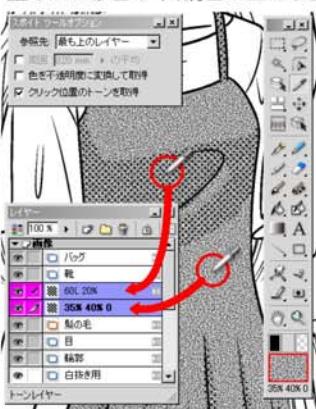


■スポットツールを使い [トーン色]を取得！

スポットツールのオプションは以下の様に設定します。
(ユーザーガイドにも記載)



下図は、砂目(35% 40%)を服の全面に、網目(60L 20%)を影に使っています。
重なりは砂目が下、網目が上です。



トーンが重なっている場所は、クリックする場所によって取得する[トーン色]が変わります。

■[トーン色]を使う時の注意点

取得した[トーン色]は以下のツールを使うと描画出来ます。

ペン	鉛筆
マジック	パターンブラシ
筆ペン	閉領域フィル
塗りつぶし	
直線	矩形
曲線	楕円
折れ線	多角形

① [トーン色]を決定します。

- ・[素材]パレットから選択
- ・[スポット]を使い取得

② [トーン色]を選択します。

- 赤枠で囲まれた色が現在取得した色となります

③描画系ツールを選択します。

- 前述のツールが使えます。
アイコンが通常のツールのモノから 罫+に変わります。

④描画をします。

- ページ上でクリック=描画を開始すると、その瞬間に新規トーンレイヤーが作成されます
同時にアイコンが③で選んだツールのアイコンに戻ります。

こうしてみると

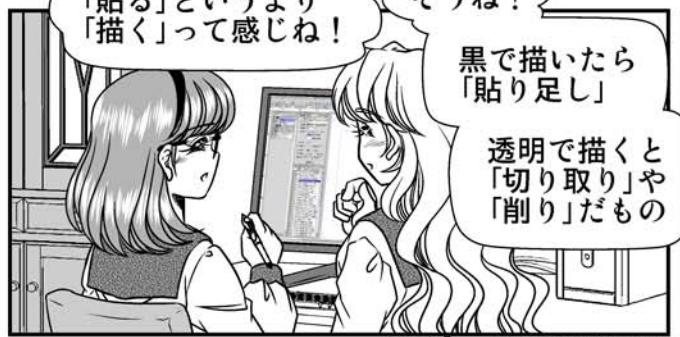
「貼る」というより
「描く」って感じね！

そうね！

黒で描いたら
「貼り足し」

透明で描くと
「切り取り」や
「削り」だもの

「貼り替え」も簡単だし
「トーン柄のゆがみ」も
すごい機能よね！(※1)



■ComicStudioのトーンの種類と特徴

●[通常]トーン



選択範囲ランチャーから
[簡易トーン設定]で
作成する事も出来る

…で…
美湖ちゃん？

聞きたい
事って…？

澄子ちゃん…
オリジナルトーン
使ってるでしょ？

ええ！ つまりトーンの
自作の方法が
知りたいって事？



オリジナルトーンは
[背景]か[パターン]よ

コミスタのトーンは
四種類あるのよ！
(※2)

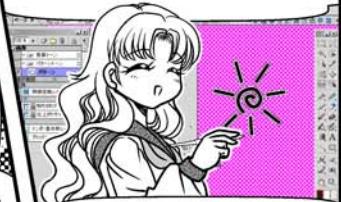


[背景]トーンは
グレースケール画像を
網目分解したトーン

[パターン]トーンは
黒・白(2bit)の絵を
パターンにしたトーン

(※2)四種類のトーンについては当ページ右欄外参照

まず[パターン]トーンね



ラスター層に
描いた画像を使うの



[黑白(2bit)]レイヤーに
パターンを描いてね！



これで[パターン]
トーンの完成よ!!

[Basic Tone]→[2 Gradation]に
多数登録されていますが、グラデー
シヨンツールを使った方が自由度の
高いグラデーションを作成できます。

●[背景]トーン

グレースケールの画像を元に
網・砂で分解してトーンとして
使うことが出来ます。



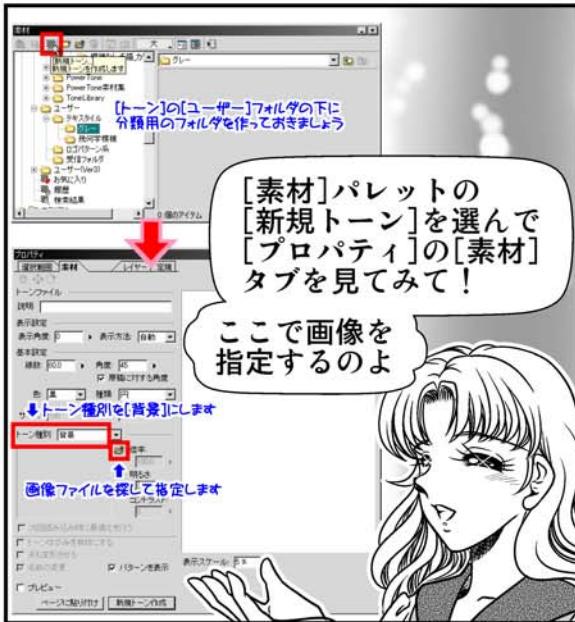
明るさ・コントラストを変更する
事が出来ます。

●[パターン]トーン

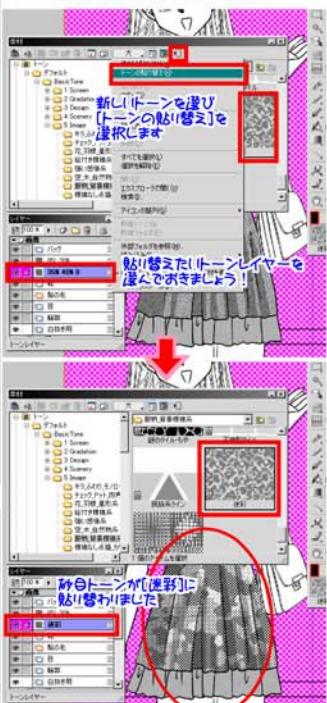
ラスター画像をパターンとして
使うトーンです。



パターンは黑白2bitで登録され、
グレーは閾値で二階調化されます。
[背景]トーンの様な明るさ・コン
トラストの調整が出来ません。
黒と白を混在させたトーンを作
ることが出来ます。



■トーンの貼り替えは一発！
一所懸命にきっちり貼ったトーンがイメージと違っていて、丸々別のトーンに貼り替える時は…



■トーンのゆがみ～
メッシュ変形を使う
トーンを貼った領域を固定したままトーンの柄の形を変形させることができます。
服のラインに合わせて[メッシュ変形]を使って変形させましょう。

